

2024年10月理事会議事録

日 時：2024年10月18日（金）16：00～18：20

場 所：島根大学松江キャンパス法文学部棟2階207室（多目的室1）・オンライン会議

出 席：石川日出志・大竹幸恵・宮本一夫・青柳泰介・一瀬和夫・岩本 崇・植田 真・岡寺 良・忍澤成視・黒尾和久・澤田秀実・高田祐一・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・藤沢 敦・水本和美・山崎和巳、監事：萩野谷 悟、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：足立拓朗・石井淳平・大坪志子・黒澤 浩・高倉 純、監事：谷口 榮

進 行：肥後弘幸

議 長：石川日出志

肥後理事から、本日の出席者は20名（うち理事19名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

議案第790号 退会会員の承認について

水本理事から、群馬県の*会員・*会員、三重県の*会員、京都府の*会員、奈良県の*会員、徳島県の*会員、福岡県の*会員から2024年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

また、賛助会員（フレンドシップ会員）の東京都の*会員から2024年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

報告第1030号 公開シンポジウムの終了について

岡寺理事から、9月8日（日）開催の公開シンポジウム「考古学が解明する邪馬台国の時代」のアンケートの集計結果及び意見・感想が提示されるとともに、現在までの収支が報告された。続けて山崎常務理事から、参加者の傾向分析等の補足説明があり、了承された。

報告第1031号 2024年度島根大会の役割分担等最終確認について

岩本理事から、2024年度島根大会について、「大会実施要項」に基づき、9月理事会以降の会場に関わる変更点の説明があり、続けて藤沢理事から、日程・役割分担についての修正・確認があり、了承された。

報告第1032号 2024年度上半期・会長・副会長会務活動報告

石川会長、及び宮本副会長・大竹副会長から、定款第24条第3項の定めにより、今年度上半期の各種行事・会議の出席等、職務執行状況について報告があった。

報告第1033号 賛助会員学習企画・見学 宮城県「北の要衝、多賀城跡を訪ねて」について

大竹副会長から、11月17日（日）に実施予定の賛助会員学習企画の見学会 宮城県「北の要衝、多賀城跡を訪ねて」について、辻 前会長及び藤沢理事が案内を担当し、当日資

料を作成中であるとの説明があり、現在5名の参加申込であり、各理事にも広く参加が呼びかけられた。

報告第1034号 各委員会等における2024年度会議等報告について（その6）

1 広報委員会の報告

岡寺理事から、①9月26日（木）に来年度のカフェde考古学2025について各委員会の担当者と打合せを行い、日程の検討や方針の認識を共有した。②10月9日（水）に委員会をオンラインで開催し、2024年度島根大会のプレスリリースを実施したことが担当委員より報告された。③公式サイトのリニューアルについて検討したとの説明があった。

続けて野口理事から、公式サイトリニューアルの進捗状況について、①委託業者において決定したデザイン案を基にした設計、現行サイトの掲載データの解析を行っている。②セキュリティ保持のために、災害等に備えて協会事務所外から管理ページにアクセスする場合の対策や、認証サーバーの設置が必要であり、経費に加える。③リニューアルについての会員への告知を12月発行の『会報』に掲載予定であるとの説明があり、了承された。また、各委員会で公式サイト移行にあたり保留となっている事項について検討・回答が求められた。

2 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

黒尾理事から、①9月13日（金）に日本人類学会・日本旧石器学会との3学連携協議会を開催し、10月13日（日）に日本人類学会大会のポスターセッションに参加して参加者と意見交換を行った。②9月29日（日）に委員会をオンラインで開催し、i) 学習指導要領改訂に向けて中央教育審議会の諮問があると想定されることから、声明や要望書等の準備を行う。ii) 今年度のカフェde考古学について、3学連携で実施予定で計画中である。また、来年度のカフェde考古学について検討した。iii) 新公式サイトへの掲載コンテンツについて協議したとの報告があり、了承された。

3 埋蔵文化財保護対策委員会の報告

藤野理事から、10月13日（日）に幹事会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①港区高輪築堤跡について、現状の確認を行い、5・6街区の保存に向けて今後の方針を協議した。②中央区浴恩園跡について、今後の計画等を確認の上、対応を検討する。③北九州市旧門司港駅跡について、イコモスのヘリテージ・アラート発出後も現状に変化はなく、引き続き注視していくとの報告があり、了承された。

4 研究環境検討委員会の報告

忍澤理事から、10月1日（火）に委員会をオンラインで開催し、①大学アンケートについて、データ整理を行った結果が提示され、検討することとなった。なお、委員会終了後の10月7日（月）に考古学研究会の担当者と打合せを行い、本データを基に双方で分析を行った上で、協議することとなった。②来年度のカフェde考古学について検討したとの報告があり、了承された。

5 『日本考古学年報』76・77の進捗状況について

一瀬理事から、『日本考古学年報』76の編集進捗状況について報告され、併せて77については執筆者選定が未提出の理事に再度の連絡が求められた。

報告第1035号 日本考古学協会発掘調査の武蔵国分寺跡出土資料の借用申請について

山崎常務理事から、協会の特別委員会で過去に調査し当会所蔵となっている武蔵国分寺跡の資料について、保管する国分寺市教育委員会から、府中市郷土の森博物館及び東京都埋蔵文化財センターで展示のための借用申請があり、所蔵者を明記の上で承認するとの説明があり、了承された。

続けて石川会長から、同様に過去の特別委員会で調査され、調査地の機関が管理している資料について、実態の確認を行った上で、当会所蔵の場合は当該自治体に移管する準備を行いたい旨が説明された。

報告第1036号 アイヌラウンドテーブル報告

藤沢理事から、10月7日（月）にアイヌラウンドテーブル及び研究倫理委員会準備委員会の合同会議が開催され、①「アイヌネノアンアイヌ・人が人であるための学問を問う会」からの公開質問状について、日本人類学会・日本文化人類学会・北海道アイヌ協会と合同での回答案を検討した。②研究倫理指針の公表日程、及び研究倫理委員会の発足日程・委員選考について協議した。③研究倫理委員会で研究倫理指針を基に審査を行うことになることから、協会員に説明する機会を検討中であるとの説明があり、アイヌの各地域団体からの説明依頼には対応する場を設ける方針で、了承された。

その他

1 2025年度の各委員会等における予算書の提出について

植田理事から、各委員会及び事業担当理事に、来年度予算要求案について、事業計画をたてて積算した上での作成、及び期日までの提出が求められた。

2 アイヌ鎮魂式参列について

宮本副会長から、10月13日（日）に北海道白老町のアイヌ遺骨及び副葬品の慰霊施設において行われた鎮魂式に参列したことが報告された。

3 第15回日本考古学協会賞の応募状況について

山崎常務理事から、現在までの第15回日本考古学協会賞の応募状況が報告された。

以上